

退役軍人の日：騙された殺人者を称える日？

【訳者注】もし最も単純な道徳的真理が、最も人を感動させるとしたら、この文章がまさにそれである。何も言うことはない。賛同の最も多い読者のコメントを引用しておこう——
「これは確かに基本的真理だ。しかしこれは、夢遊病者の大衆がしっかり目覚めるまで、何度も、何度も、何度も、繰り返されなければならないことだ。すばらしい文章だ、フィッシャーチック！」

By fishychick

November 11, 2015, Information Clearing House



人が自分の家と家族を防衛するように求められたとき、要求されるのは実は勇気でなく、義務感である。私の家が攻撃される時、私の家族が危険にさらされる時、正しくふさわしいのは、私が彼らを守ることであって、誰か他人が死ぬ危険を冒して、私の家と家族を守ってくれるよう期待することではない。

人が自分の祖国を防衛するように求められたときも、同じ義務感が要求される。不幸なことに、この国を守れという要求は、**アメリカがこれまで戦ったあらゆる戦争**において、虚偽の情報に基づいて発令されている。米軍が我々の家と我々の国家を防衛しているという虚偽の説明は、一つの単純な事実によってウソだとわかる：——あなたは隣の家に行って隣人を殺すことによって、あなたの家を守りはしない。それが我々の軍隊のやっていることである。我々が英国から独立を“勝ち取って”以来、“我々のもの”と言っている土地を、外国の侵略者から防衛して戦った戦争は、たった一つもない。（我々は土着アメリカ人とメキシコ人から土地を奪ったのだが、それはまた別の話だ。）

私は、現在の軍隊に加わる人を、英雄であるかのように言うことに胸の悪さを覚える。彼ら

はよく言っても傭兵であり、悪く言えば、合法的な雇用を口実にする殺人者である。平和な国家に対するアメリカの侵略の歴史は長く、嫌悪を催させる。客船「ルシタニア号」に対する攻撃は、我々を第一次大戦に引き込むために用いられた。そして結局、この船には軍事装備品が積み込まれていたことが判明した。船客が殺されたことによって、市民は怒り狂い、戦争への欲求を掻き立てた。それは市民の要求だった。それがあまりうまくいったので、政府はこの策略を何度も繰り返して用いた。そして現在もなお、これをやっている。ニュースはイランとの戦争の構えに満ちている。イランは百年以上も他国を攻撃していないが、そのイランが、我々の自由への深刻な脅威と考えられている。まあ、この冗談は我々に向けられたもので、我々には意味のある自由はほとんど残ってない。

ここに[リンク](http://www.informationclearinghouse.info/article29691.htm)を設けた短い歴史は、ウソが、**あなたを犠牲にして**世界中に戦争を仕掛けるのに、用いられたことを示している。

<http://www.informationclearinghouse.info/article29691.htm>

私は誰をも殺したくない。私は、誰かが私を“守るため”と称して、別の誰かを殺してほしくない——暴漢が**わが家**にいるなら別だが。(イラクやアフガニスタンでは、まさに米兵という暴漢が**わが家**に入り込んでいる。) 私は彼らの心根を称えようとしてきた——彼らが他者のために命を危険にさらそうとすることに対して。しかし彼らは**間違っている**。だからもう、どんな意味でも彼らを弁護するつもりはない。防衛は許される。しかし米軍は、**他国**に行つて彼らを侵略し占領することによって、アメリカの防衛は**していない**。彼らは帝国を建設し、戦争商売をしているのだ。私はそれを支持しない。私が税金を払っているのは、監獄行き(ゆすり)が怖いからにすぎない。なぜなら、これらの戦争を資金援助**しない**のが私の**道徳的義務**だからである。私が、自分の自由への恐怖から道徳的に振舞うことができないとき、これはアメリカの“自由”についての悲しい言明になる。

「退役軍人の日」(Veteran's Day, 11月11日)は、アイゼンハワーによって“法定休日”に定められた。これは、彼が軍産合同事業に対して厳しい警告をしたことを考えると、かなり皮肉なことである。彼は、不道徳な振舞いを称えるように、圧力をかけられていたようでもある。政府に騙されて、実は存在しない敵を恐れるようになった男女と、その恐怖のために彼らを取る行動の間に、線を引くことは難しい。それで今日、私は退役軍人を称えない。私は、徴兵忌避者と平和活動家、それに戦争に行ったが戻ってきて、**真実を我々に話してくれた、信じられないほど勇敢な者たち**を称える。彼らが自分の行動の結果、直面しなければならなかった事情は、決して軽い課題ではない。我々は誰でも、自分は正しい決断をし、道徳的に振舞っていると信じたい。だから、自分が騙され利用されたことを認め、その後で、立ち上がつてウソつき呼ばわりするためには、本当の人格的強靱さが必要となる。

私はそれでも、戦争機械に巻き込まれてしまった人々を支持する——彼らはましな人々だ。私が**支持しないのは、戦争と、戦争のために私からカネを巻き上げる者たち**である。

もしあなたが軍隊にいるなら、**私の名前において、私のカネで人々を殺すことをやめてほしい**。あなたは自分の行動に責任がある。あなたは“大量破壊兵器”などなかったことを知っている。ビン・ラディンが CIA のスパイだったことを知っている。イランがあなたにとっても、私にとっても、我々が祖国と呼ぶこの国にとっても、脅威でないことを知っている。敵はいま国内にいる。だから、もしあなたが中東にいるなら、あなたは自分の家と家族を無防備状態にしているのである。恥ずべきことではないか。ベトナム戦争を最終的に終わらせたのは塹壕にいた人々だった。アメリカの中東侵略と占領を終わらせることは、砂漠にいる人々にかかっている。

きょう、私が称えるのは：

私の兄ゴードン——彼は自分がベトナムに向かっていると考え、行こうとしなかった。見知らぬ人々をどうしても殺したくなかった。

私のいとこトリスタン——彼は9・11 後、志願兵となり、無防備のハンビーに乗っていて IED（即席爆発装置）によって殺された。彼はこれ以上、見知らぬ人々を殺すことはないだろう。

私の友人 Blayne——彼は退役して、今は真理を語り平和を防衛している。彼は見知らぬ人一般を殺すことをやめさせようとしている。

Adam Kokesh——は情け容赦なく、公然と戦争反対を叫んでいる。

Scott Olsen——は立ち上がり、米国内の平和運動のために命をかけている。

「反戦イラク復員団体」

「平和復員団体」

我々すべてに警告しようとした Smedley Butler

平和の名において (G・W・ブッシュのように臆病からでなく) 徴兵を忌避したすべての人々

私は軍服を着た善良な男女がいることを知っている。しかし、あなた方が戦争で戦ったより**もっと攻撃的に**、平和のために戦うべき時がきた。もしあなたが本当に自分の家と家族の安全を願うなら、オークランドカウォール街へ行き、米国民がもっている最後の自由のかけらまで破壊しようとしている、国内の敵と戦うべきである。

もしあなたや、あなたの知人が、就職できないので軍隊に入ろうとしているなら、マフィアとか **Boods、Crips** といったギャング組織があつて、殺しも金儲けもできると言ってやってほしい。もし彼らがある義務感からそうしようとしているなら、我々の政府が自国市民に対して行った、ニセ旗攻撃の歴史を話してやるがよい。

また、もしあなたや、あなたの知人が、イスラエルを我々の同盟国だと思っているなら、**Liberty** 号事件のことを知ってほしい。それから少し勉強をして、いかに多くのイスラエル/米二重国籍者が米政府の最高権力の座にいるか、そして彼らのいかに多くが、我々から我々の家を盗んでいる銀行の、現在や過去の最高責任者であるかを知っていただきたい。

アメリカ政府は、その忠誠の第一の相手がアメリカでなく、イスラエルであるような銀行家によって転覆させられた。もし兵士や復員兵が、我が国への現実の侵略から本当にアメリカを防衛していたなら、我々はイスラエルの敵といつまでも戦うこともなく、世界中の我々の友好国や同盟国との平和な貿易に従事していただろう。

平和を祝う祝日を設けたらどうだろう？ 私はあらゆる人々が、クリスマスには“地上の平和”を願っていることを知っている。だが、そうだとしても、イエス様がツリーの下にそれを置いていってくれないと、人々は諦めてしまう。少なくとも彼らは、子供に与えるピカピカする電子戦争ゲームをもっている。人々はそれで満足すればよい——そこからより良い世界がすぐにも見えてくる、と私は確信する。